

令和 8 年度

# 鳥取市下水道等事業会計予算書

鳥 取 市



## 令和8年度鳥取市下水道等事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度鳥取市下水道等事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 水 洗 化 人 口	167,479 人
(2) 年 間 有 収 水 量	18,173,332 m <sup>3</sup>
(3) 主 な 建 設 改 良 事 業	
(ア) 管 渠 整 備 事 業	2,464,400 千円
(イ) ポ ン プ 場 整 備 事 業	1,371,300 千円
(ウ) 処 理 場 整 備 事 業	317,400 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 下水道等事業収益		8,639,521 千円
第1項 営業収益		5,713,047 千円
第2項 営業外収益		2,926,443 千円
第3項 特別利益		31 千円
	支	出
第1款 下水道等事業費用		8,518,924 千円
第1項 営業費用		7,774,319 千円
第2項 営業外費用		734,189 千円
第3項 特別損失		416 千円
第4項 予備費		10,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 3,024,651千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 172,943千円、過年度分損益勘定留保資金1,329,070千円並びに当年度分損益勘定留保資金1,522,638千円で補填するものとする。）。

収 入	
第1款 資本的収入	5,660,917 千円
第1項 企業債	3,460,400 千円
第2項 補助金	1,376,350 千円
第3項 出資金	1,836 千円
第4項 負担金及び分担金	769,820 千円
第5項 固定資産売却代金	10 千円
第6項 その他資本的収入	52,501 千円
支 出	
第1款 資本的支出	8,685,568 千円
第1項 建設改良費	4,333,620 千円
第2項 企業債償還金	4,350,263 千円
第3項 その他資本的支出	685 千円
第4項 予備費	1,000 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
鳥取市下水道等におけるウォーターPPP導入に伴うアドバイザリー業務	令和9年度	16,500千円
東吉成ポンプ場改築工事（電気設備ほか）	令和9年度	320,000千円
的場中継ポンプ場改築工事（電気設備ほか）	令和9年度	390,000千円
福部汚水中継ポンプ場改築工事（電気設備）	令和9年度	400,000千円
秋里下水終末処理場改築工事（耐水化）	令和9年度	100,000千円
河原浄化センター水処理施設増設工事	令和9年度	260,000千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
下水道等建設事業	2,657,300千円	普通貸借又は証券発行	10.0%以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率	政府その他の資金の借入れについては、その融通条件による。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、若しくは繰り上げ償還又は低利に借り換えることができる。
下水道事業債（特別措置分）	103,100千円			
資本費平準化債	700,000千円			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、2,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 営 業 費 用
- (2) 営 業 外 費 用
- (3) 特 別 損 失

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職 員 給 与 費 369,132 千円

(他会計からの補助金)

第10条 営業補助のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、162,299千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、20,302千円と定める。

令和8年2月18日提出

鳥取市長 深澤義彦

## 令和8年度鳥取市下水道等事業会計予算実施計画

### 収 益 的 収 入 及 び 支 出 収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考	
1 下水道等事業収益			8,639,521		
	1 営業収益			5,713,047	
		1	下水道使用料	3,215,588	
		2	他会計負担金	2,368,386	雨水処理等に対する負担金
		3	他会計補助金	109,417	汚水処理に対する補助金
		4	その他営業収益	19,656	水質検査料、汚泥焼却施設維持管理負担金、登録手数料等
	2 営業外収益			2,926,443	
		1	受取利息及び配当金	6,605	預金利息
		2	他会計負担金	407,336	雨水処理等に対する負担金
		3	他会計補助金	52,882	汚水処理に対する補助金
		4	長期前受金戻入	2,424,917	減価償却費等に係る補助金等の収益化分
		5	雑収益	34,703	生産物売払収益・コンポスト施設負担金等
	3 特別利益			31	
		1	固定資産売却益	10	
		2	過年度損益修正益	10	
		3	引当金戻入益	1	
		4	その他特別利益	10	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下水道等事業費用			8,518,924	
	1 営 業 費 用		7,774,319	
		1 管 渠 費	540,637	管渠施設の維持管理に要する費用
		2 ポ ン プ 場 費	204,082	ポンプ場施設の維持管理に要する費用
		3 処 理 場 費	2,016,938	処理場施設の維持管理に要する費用
		4 水 質 管 理 費	30,219	水質検査に要する費用
		5 水 洗 化 等 普 及 費	23,621	水洗化等普及に要する費用
		6 業 務 費	186,441	下水道使用料の賦課徴収に要する費用
		7 総 係 費	226,215	事業活動全般に関連する費用
		8 減 価 償 却 費	4,514,438	固定資産の減価償却費用
		9 資 産 減 耗 費	31,718	固定資産の除却費用
		10 その他営業費用	10	
	2 営 業 外 費 用		734,189	
		1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	656,817	企業債利子及び一時借入金利子償還金
		2 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	77,352	消費税及び地方消費税
		3 雑 支 出	20	
	3 特 別 損 失		416	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	396	過年度に属する費用の増額及び収益の減額修正損
		2 そ の 他 特 別 損 失	20	水洗便所改造資金補償費
	4 予 備 費		10,000	
		1 予 備 費	10,000	

**資 本 的 収 入 及 び 支 出**  
**収 入**

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 収 入			5,660,917	
	1 企 業 債		3,460,400	
		1 建 設 企 業 債	3,460,400	建設改良費等に充当する企業債
	2 補 助 金		1,376,350	
		1 国・県交付金 (補助金)	1,376,350	建設改良費に対する国・県交付金
	3 出 資 金		1,836	
		1 他 会 計 出 資 金	1,836	災害復旧債元金償還金に対する出資金
	4 負 担 金 及 び 分 担 金		769,820	
		1 他 会 計 負 担 金	764,804	企業債元金償還金に対する負担金
		2 受 益 者 負 担 金 及 び 分 担 金	5,016	受益者負担金、分担金、加入金
	5 固 定 資 産 売 却 代 金		10	
1 固 定 資 産 売 却 代 金		10		
6 そ の 他 資 本 的 収 入		52,501		
	1 そ の 他 資 本 的 収 入	52,501	下水道管移設工事補償費等	

**支 出**

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資 本 的 支 出			8,685,568	
	1 建 設 改 良 費		4,333,620	
		1 管 渠 費	2,464,400	管渠の建設改良事業に要する経費
		2 ポ ン プ 場 費	1,371,300	ポンプ場の建設改良事業に要する経費
		3 処 理 場 費	317,400	処理場の建設改良事業に要する経費
		4 建 設 総 務 費	180,520	建設改良事業に要する事務費
	2 企 業 債 償 還 金		4,350,263	
		1 企 業 債 償 還 金	4,350,263	企業債元金償還金
	3 そ の 他 資 本 的 支 出		685	
		1 そ の 他 資 本 的 支 出	685	過年度受益者負担金等返還金
	4 予 備 費		1,000	
1 予 備 費		1,000		

# 令和8年度鳥取市下水道等事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:千円)

## 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益(△は純損失)	99,445
減価償却費	4,514,438
固定資産除却費	31,718
引当金の増減額(△は減少)	2,293
長期前受金戻入額	△ 2,424,917
受取利息及び配当金	△ 6,605
支払利息及び企業債取扱諸費	656,817
未収金の増減額(△は増加)	31,918
未払金の増減額(△は減少)	226,932
未払費用の増減額(△は減少)	△ 6,844
小計	3,125,195
利息及び配当金の受取額	6,605
利息の支払額	△ 656,817
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,474,983

## 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 3,960,784
有形固定資産の売却による収入	9
国庫補助金等による収入	1,303,511
一般会計からの繰入金による収入	697,104
補助金等の返還	△ 685
短期貸付金の回収による収入	1,500,000
短期貸付金による支出	△ 1,500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,960,845

## 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	3,460,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 4,350,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 889,863
資金増加額(又は減少額)	△ 375,725
資金期首残高	1,798,094
資金期末残高	1,422,369

# 給 与 費 明 細 書

## 1 総 括

(単位 千円)

区 分	職 員 数		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職 (人)	一 般 職 (人)	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	15	(9) 40	17,884	168,302	121,719	307,905	61,227	369,132
前 年 度	9	(8) 41	16,380	163,836	124,564	304,780	60,033	364,813
比 較	6	(1) △ 1	1,504	4,466	△ 2,845	3,125	1,194	4,319

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	通 勤 手 当	管 理 職 手 当	管 理 職 員 特 別 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	休 日 勤 務 手 当	宿 日 直 手 当	住 居 手 当	退 職 給 付 費
	本 年 度	4,974	15,053	41,685	35,366	1,986	6,231	0	53	489	0	4,029	11,853
	前 年 度	5,022	14,101	41,518	35,517	2,059	6,350	0	53	399	0	3,999	15,546
	比 較	△48	952	167	△151	△73	△119	0	0	90	0	30	△3,693

備考 職員数の( )内は、短時間勤務職員で外教

### ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職 (人)	一 般 職 (人)	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	15	(1) 40	525	168,302	115,204	284,031	57,760	341,791
前 年 度	9	(0) 41	126	163,836	118,359	282,321	56,552	338,873
比 較	6	(1) △ 1	399	4,466	△ 3,155	1,710	1,208	2,918

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	通 勤 手 当	管 理 職 手 当	管 理 職 員 特 別 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	休 日 勤 務 手 当	宿 日 直 手 当	住 居 手 当	退 職 給 付 費
	本 年 度	4,974	15,053	38,146	32,390	1,986	6,231	0	53	489	0	4,029	11,853
	前 年 度	5,022	14,101	38,147	32,683	2,059	6,350	0	53	399	0	3,999	15,546
	比 較	△48	952	△1	△293	△73	△119	0	0	90	0	30	△3,693

備考 職員数の( )内は、短時間勤務職員で外教

イ 会計年度任用職員

区 分	職 員 数		給 与 費				法定福利費	合 計
	一 般 職	(人)	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	(8)	0	17,359	0	6,515	23,874	3,467	27,341
前 年 度	(8)	0	16,254	0	6,205	22,459	3,481	25,940
比 較	(0)	0	1,105	0	310	1,415	△ 14	1,401

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当	通 勤 手 当	管 理 職 手 当	管 理 職 員 特 別 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	休 日 勤 務 手 当	宿 日 直 手 当	住 居 手 当	退 職 給 付 費
	本 年 度	0	0	3,539	2,976	0	0	0	0	0	0	0	0
	前 年 度	0	0	3,371	2,834	0	0	0	0	0	0	0	0
	比 較	0	0	168	142	0	0	0	0	0	0	0	0

備考 職員数の( )内は、短時間勤務職員で外数

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区 分	増 減 額	増減事由別内訳		説 明		備 考
給 料	4,466	給与改定に伴う増減分	5,142	7年度給与改定	5,142	
		昇給に伴う増減分	1,653	8年度昇給分	407	平均昇給率 0.962%
				7年度昇給分	1,246	
		その他の増減分	△2,329	退職、異動等による増減分	△2,329	
手 当	△2,845	給与改定に伴う増減分	3,132	7年度給与改定	3,132	
		昇給に伴う増減分	644	昇給に伴う増加分	644	
		その他の増減分	△6,621	退職給付費	△3,693	△2,928
				退職、異動等による増減分		

### 3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		一般行政職
8年1月1日現在	平均給料月額 (円)	340,900
	平均給与月額 (円)	385,700
	平均年齢 (歳)	43.7
7年1月1日現在	平均給料月額 (円)	330,100
	平均給与月額 (円)	389,000
	平均年齢 (歳)	42.5

(2) 初任給

区 分	一般行政職 (円)	一般会計の制度
		一般行政職 (円)
高 校 卒	200,300	200,300
大 学 卒	232,000	232,000

(3) 級別職員数

区 分	一 般 行 政 職		
	級	職員数(人)	構成比(%)
8年1月1日 現 在	1 級	6	15.4
	2 級	5	12.9
	3 級	(1)	(100.0)
		7	17.9
	4 級	9	23.1
	5 級	7	17.9
	6 級	2	5.1
	7 級	2	5.1
	8 級	1	2.6
計	(1) 39	(100.0) 100.0	
7年1月1日 現 在	1 級	9	22.0
	2 級	4	9.8
	3 級	8	19.5
	4 級	10	24.4
	5 級	5	12.2
	6 級	1	2.4
	7 級	3	7.3
	8 級	1	2.4
	計	41	100.0

備考 職員数の( )内は、短時間勤務職員で外数

(級別の基準となる職務)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
一般行政職	主事、技師等	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事、技師等	主任	係長、主幹	課長補佐、主査	課長	次長	部長

備考 令和8年1月1日現在

## (4) 昇給

区 分		合 計	一般行政職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	40	40	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	40	40	
	号 給 数 別 内 訳	2号給 (人)		
		4号給 (人)	40	40
		5号給 (人)		
		6号給 (人)		
比 率 (B)/(A) (%)	100.0	100.0		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	41	41	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	41	41	
	号 給 数 別 内 訳	2号給 (人)		
		4号給 (人)	41	41
		5号給 (人)		
		6号給 (人)		
比 率 (B)/(A) (%)	100.0	100.0		

## (5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計(月分)	職制上の段階、職務の級等による加算措置	備 考
	6月(月分)	12月(月分)			
本 年 度	2.325	2.325	4.65	有	
前 年 度	2.300	2.300	4.60	有	

## (6) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区 分	20年勤続 の者(月分)	25年勤続 の者(月分)	35年勤続 の者(月分)	最高限度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)	

備考 令和8年1月1日現在

## (7) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	代 表 的 な 職 種	
		一般行政職	現 業 職
給料総額に対する比率 (%)	0.03	0.03	
代表的な特殊勤務手当の名称	特殊現場作業手当 毒劇物取扱手当		

## (8) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同 じ	
住 居 手 当	同 じ	
通 勤 手 当	同 じ	

## 債務負担行為に関する調書

(単位 千円)

事 項	限度額	前年度末までの支払義務発生見込		当該年度支払義務発生見込額	翌年度以降の支払義務発生額		左の財源内訳					
		期 間	金 額		期 間	金 額	建 設 債 権	国 ・ 県 金	そ の 他	他会計負担金		
											交 付 金	
鳥取市下水道等におけるウォーターPPP導入に伴うアドバイザー業務	16,500				令和9年度	16,500						16,500
東吉成ポンプ場改築工事（電気設備ほか）	320,000				令和9年度	320,000	160,000	160,000				
的場中継ポンプ場改築工事（電気設備ほか）	390,000				令和9年度	390,000	195,000	195,000				
福部汚水中継ポンプ場改築工事（電気設備）	400,000				令和9年度	400,000	200,000	200,000				
秋里下水終末処理場改築工事（耐水化）	100,000				令和9年度	100,000	46,000	54,000				
河原浄化センター水処理施設増設工事	260,000				令和9年度	260,000	105,000	142,000	13,000			
下水道等施設包括的民間委託事業費	7,818,659	令和6年度 ～ 令和7年度	4,662,389	3,156,270	～令和8年度							

# 令和7年度鳥取市下水道等事業会計予定損益計算書（前年度分）

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

1	営業収益			
	(1) 下水道使用料	2,923,668		
	(2) 他会計負担金	2,231,806		
	(3) 他会計補助金	285,736		
	(4) その他営業収益	<u>17,037</u>	5,458,247	
2	営業費用			
	(1) 管渠費	485,056		
	(2) ポンプ場費	190,401		
	(3) 処理場費	1,808,428		
	(4) 水質管理費	28,784		
	(5) 水洗化等普及費	23,647		
	(6) 業務費	169,520		
	(7) 総係費	227,379		
	(8) 減価償却費	4,480,514		
	(9) 資産減耗費	55,982		
	(10) その他営業費用	<u>9</u>	<u>7,469,720</u>	
	営業損失			2,011,473
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	5,839		
	(2) 他会計負担金	412,682		
	(3) 他会計補助金	44,703		
	(4) 長期前受金戻入	2,407,872		
	(5) 雑収	<u>35,949</u>	2,907,045	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	654,732		
	(2) 雑支出	<u>64,069</u>	<u>718,801</u>	<u>2,188,244</u>
	経常利益			176,771
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	9		
	(2) 過年度損益修正益	9		
	(3) 引当金戻入益	1		
	(4) その他特別利益	<u>9</u>	28	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	422		
	(2) その他特別損失	<u>20</u>	<u>442</u>	<u>△ 414</u>
7	予備費	<u>10,000</u>	<u>10,000</u>	<u>△ 10,000</u>
	当年度純利益			166,357
	前年度繰越利益剰余金			<u>956,207</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>1,122,564</u></u>

令和7年度鳥取市下水道等事業会計予定貸借対照表（前年度分）

（令和8年3月31日現在見込）

資 産 の 部

（単位 千円）

1 固 定 資 産			
(1) 有形固定資産			
イ 土 地	6,241,283		
ロ 建 物	3,896,453		
減価償却累計額	<u>1,821,411</u>	2,075,042	
ハ 構 築 物	140,758,162		
減価償却累計額	<u>46,904,303</u>	93,853,859	
ニ 機 械 及 び 装 置	33,690,770		
減価償却累計額	<u>22,516,223</u>	11,174,547	
ホ 車 両 運 搬 具	157,250		
減価償却累計額	<u>146,360</u>	10,890	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	30,772		
減価償却累計額	<u>29,396</u>	1,376	
ト リ ー ス 資 産	36,628		
減価償却累計額	<u>33,702</u>	2,926	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>943,694</u>	
有形固定資産合計			114,303,617
(2) 無形固定資産			
イ 地 上 権	<u>9,484</u>		
無形固定資産合計			<u>9,484</u>
固 定 資 産 合 計			114,313,101
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金		1,798,094	
(2) 未 収 金		267,717	
(3) 貸 倒 引 当 金		△ 27,143	
(4) 貯 蔵 品		13,431	
(5) 前 払 金		199,440	
(6) 短 期 貸 付 金		<u>1,500,000</u>	
流 動 資 産 合 計			<u>3,751,539</u>
資 産 合 計			<u>118,064,640</u>

## 負 債 の 部

3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	42,694,448		
企 業 債 合 計			42,694,448
(2) 引 当 金			
イ 退職給付引当金	143,571		
引 当 金 合 計			143,571
固 定 負 債 合 計			42,838,019
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,350,257		
企 業 債 合 計			4,350,257
(2) 未 払 金			980,508
(3) 未 払 費 用			15,359
(4) 前 受 金			7
(5) 引 当 金			
イ 賞与引当金	25,914		
ロ 法定福利費引当金	5,335		
引 当 金 合 計			31,249
(6) 預 り 金			39,010
流 動 負 債 合 計			5,416,390
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金			
イ 受贈財産評価額	4,636,703		
ロ 他会計負担金	11,175,727		
ハ 受益者負担金 及び分担金	6,252,223		
ニ 工事負担金	2,212,277		
ホ 国・県交付金 (補助金)	63,328,628		
ヘ 災害復旧費 国・県負担金(補助金)	58,505		
ト その他長期前受金	464,880		
長 期 前 受 金 合 計			88,128,943
収 益 化 累 計 額			△ 37,098,124
繰 延 収 益 合 計			51,030,819
負 債 合 計			99,285,228

## 資 本 の 部

6	資 本 金		
	(1) 自 己 資 本 金	<u>14,051,291</u>	
	資 本 金 合 計		14,051,291
7	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	71,546	
	ロ 他 会 計 負 担 金	736,608	
	ハ 受 益 者 負 担 金 及 び 分 担 金	1,076	
	ニ 工 事 負 担 金	10,681	
	ホ 国 ・ 県 交 付 金 ( 補 助 金 )	2,784,112	
	ヘ そ の 他 資 本 剰 余 金	<u>1,534</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		3,605,557
	(2) 利 益 剰 余 金		
	ロ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>1,122,564</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>1,122,564</u>
	剰 余 金 合 計		<u>4,728,121</u>
	資 本 合 計		<u>18,779,412</u>
	負 債 資 本 合 計		<u><u>118,064,640</u></u>

## 注 記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産 定額法による。

ロ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

#### (3) 主な耐用年数

建物	8～50年
構築物	10～50年
機械及び装置	6～20年
車両運搬具	4～7年
器具及び備品	5～15年

#### (4) 引当金の計上方法

##### イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。(一般会計が負担すると見込まれる額を除く。)

##### ロ 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。

##### ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

#### (5) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### 2 予定貸借対照表関連

#### (1) 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表上に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は35,217,519千円である。

#### (2) 引当金の取崩し

##### イ 退職給付引当金の取崩し

当年度において、退職手当(一般会計負担分を除く。)として10,137千円を負担するため、退職給付引当金10,137千円を取り崩す見込みである。

##### ロ 賞与引当金及び法定福利費引当金

当年度において、職員の期末・勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出をするため、賞与引当金25,388千円及び法定福利費引当金5,086千円を取り崩す見込みである。

##### ハ 貸倒引当金

当年度において、債権の不納欠損による損失に充てるため、貸倒引当金27,143千円を取り崩す見込みである。

### 3 リース契約により使用する固定資産

#### (1) リース会計に係る処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

令和8年度鳥取市下水道等事業会計予定貸借対照表（当年度分）

（令和9年3月31日現在見込）

資 産 の 部

（単位 千円）

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		6,241,283	
ロ 建 物	3,896,453		
減価償却累計額	<u>1,927,511</u>	1,968,942	
ハ 構 築 物	143,111,463		
減価償却累計額	<u>50,406,395</u>	92,705,068	
ニ 機 械 及 び 装 置	35,266,535		
減価償却累計額	<u>23,421,265</u>	11,845,270	
ホ 車 両 運 搬 具	157,250		
減価償却累計額	<u>147,242</u>	10,008	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	30,763		
減価償却累計額	<u>29,718</u>	1,045	
ト リース資産	36,628		
減価償却累計額	<u>33,702</u>	2,926	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>943,694</u>	
有形固定資産合計			113,718,236

(2) 無形固定資産

イ 地 上 権		<u>9,484</u>	
無形固定資産合計			<u>9,484</u>
固定資産合計			113,727,720

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		1,422,369	
(2) 未 収 金		235,799	
(3) 貸 倒 引 当 金		△ 27,143	
(4) 貯 蔵 品		13,431	
(5) 前 払 金		199,440	
(6) 短 期 貸 付 金		<u>1,500,000</u>	
流動資産合計			<u>3,343,896</u>
資 産 合 計			<u><u>117,071,616</u></u>

**負 債 の 部**

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	42,116,939		
企 業 債 合 計		42,116,939	
(2) 引 当 金			
イ 退職給付引当金	145,657		
引 当 金 合 計		145,657	
固 定 負 債 合 計			42,262,596

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,037,903		
企 業 債 合 計		4,037,903	
(2) 未 払 金		1,207,440	
(3) 未 払 費 用		8,515	
(4) 前 受 金		7	
(5) 引 当 金			
イ 賞与引当金	26,068		
ロ 法定福利費引当金	5,388		
引 当 金 合 計		31,456	
(6) 預 り 金		39,010	
流 動 負 債 合 計			5,324,331

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金			
イ 受贈財産評価額	4,636,703		
ロ 他会計負担金	11,856,141		
ハ 受益者負担金 及び分担金	6,256,782		
ニ 工事負担金	2,212,277		
ホ 国・県交付金 (補助金)	64,579,168		
ヘ 災害復旧費 国・県負担金(補助金)	58,505		
ト その他 長期前受金	512,607		
長 期 前 受 金 合 計		90,112,183	
収 益 化 累 計 額		△ 39,523,041	
繰 延 収 益 合 計			50,589,142
負 債 合 計			98,176,069

**資 本 の 部**

6 資	本	金			
	(1) 自	己	資	本	金
				<u>14,053,127</u>	
			資	本	金
			合	計	14,053,127
7 剩	余	金			
(1) 資	本	剩	余	金	
イ	受	贈	財	産	評
					価
				71,546	額
ロ	他	会	計	負	担
					金
				751,462	
ハ	受	益	者	負	担
	及	び	分	担	金
				1,076	
ニ	工	事	負	担	金
				10,681	
ホ	国	・	県	交	付
					金
				2,784,112	
ヘ	そ	の	他		
	資	本	剩	余	金
				<u>1,534</u>	
			資	本	剩
			余	金	合
			計		<u>3,620,411</u>
(2) 利	益	剩	余	金	
ロ	当	年	度	未	処
					分
				<u>1,222,009</u>	利
					益
					剩
					余
					金
				<u>1,222,009</u>	合
					計
			剩	余	金
			合	計	<u>4,842,420</u>
			資	本	合
			計		<u>18,895,547</u>
			負	債	資
			本	合	計
					<u><u>117,071,616</u></u>

## 注 記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産 定額法による。

ロ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

#### (3) 主な耐用年数

建物	8～50年
構築物	10～50年
機械及び装置	6～20年
車両運搬具	4～7年
器具及び備品	5～15年

#### (4) 引当金の計上方法

##### イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。(一般会計が負担すると見込まれる額を除く。)

##### ロ 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。

##### ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

#### (5) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### 2 予定貸借対照表関連

#### (1) 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表上に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は34,193,032千円である。

#### (2) 引当金の取崩し

##### イ 退職給付引当金の取崩し

当年度において、退職手当(一般会計負担分を除く。)として9,960千円を負担するため、退職給付引当金9,960千円を取り崩す見込みである。

##### ロ 賞与引当金及び法定福利費引当金

当年度において、職員の期末・勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支出をするため、賞与引当金25,914千円及び法定福利費引当金5,335千円を取り崩す見込みである。

##### ハ 貸倒引当金

当年度において、債権の不納欠損による損失に充てるため、貸倒引当金27,143千円を取り崩す見込みである。

### 3 リース契約により使用する固定資産

#### (1) リース会計に係る処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

